

# 嘉祥寺地域の一部家屋浸水の要因 「泉佐野中央ポンプ場への雨水流入を制限したことによる」

町当局が報告

ポンプ場水没の被害をさけるため



吉見ポンプ場内の降水計  
13日 18時～19時 55ミリ  
19時～20時 62.5ミリ

ポンプ場計画能力55ミリを上回る降水量

台風19号による降水量とポンプ場の対応



○浸水被害の状況（主な区域）※町当局の資料から  
浸水・冠水被害

- ・田尻川「新橋」横区域
- ・嘉祥寺りんくう緩衝緑地沿道区域
- ・「清水染工」跡地開発区域
- ・南海本線嘉祥寺アンダーパス

○自主避難者（役場別館2階）  
・2世帯（5人）

小川ゆうじの「ぶん赤旗」読者だよ

大阪田尻町議 小川雄司



田尻町支部党活動募金  
1口200円のお願

なんでも相談は  
月・水・金の  
午前10時～午後  
465-9939

10月の弁護士相談は  
10日（金）  
夕方6時～8時  
事前予約が必要です

（部内資料）

## 16日 町議会災害対策特別委員会を開催

田尻町議会災害対策特別委員会（委員長小川、副委員長 東、の他 全議員で構成）は、正副委員長が協議し、13日夜に起こった台風19号による被害状況と現在の対応をいち早く町当局に報告していただくため、16日（木）午前9時半から委員会を開催しました。

委員会には、議員9名（1名所用で欠席）が出席。説明には副町長、危機管理プロジェクトチーム課長が出席し、「台風19号による被害報告」（以下、報告書）の文書を議員に配布して説明いただきました。上記の地図に記載した「降水量」の情報の一部は、私、小川が直接担当からお聞きし記載したものです。

被害状況については、「おおさか防災ネット」で公表されている田尻町の被害は、「14日6時現在」「住家被害」床上浸水約1軒、床下浸水約30軒、（道路冠水）約1カ所」となっています。

## 床下浸水が約30軒、床上浸水が数件（どちらも現在確定作業中）

委員会では町当局は、「その時点で府に報告したもののだが、現在どちらも確定作業中」と答弁し、「報告書」には被害件数の記載はありません。「報告書」で「町内の一部区域において、道路冠水や家屋の浸水」が発生した要因については次のように記載されています。

「この要因として、これらの区域（嘉祥寺地域）は泉佐野市中央ポンプ場の排水エリアの多くを占め、当時、同排水場の計画能力を上回る降水量があったことから、ポンプ場への雨水流入を制限したことによるものです。」

※ポンプ場での計測で、吉見も泉佐野北も（中央は公表されておらず）処理能力55ミリを超えているのに、吉見は「流入制限せず」でなぜ対応が分かれたのか？私は担当課長に聞きました。「雨水が土にしみこむなど集水区域の地形条件にもよる。吉見もギリギリのところでした」などと回答がありました。

田尻町からバスを出します  
ぜひ、ご参加下さい

日本共産党  
演説会

山下よしき  
書記局長



おおさかの  
1万人の  
つどい

11月7日（金）午後6時30分開会  
大阪市中央体育館

集合・出発  
吉見ローソン  
17:30 出発  
↓  
りんくう府住集会所前  
17:35 出発

バス代  
1500円